

第3回豊橋市長期末整備公園見直し計画検討委員会議事録

1. 日 時：令和6年10月2日（水）午前10時から11時30分まで
2. 場 所：豊橋市役所第一会議室
3. 出席者：浅野純一郎（豊橋技術科学大学 建築都市システム学系教授）
松本幸正（名城大学 理工学部社会基盤デザイン工学科教授）
川口暢子（愛知工業大学 工学部土木工学科准教授）【欠席】
オブザーバー：栗田雅貴（愛知県 都市・交通局都市基盤部公園緑地課長）
【代理：企画・都市緑化グループ 主査 森井康裕】
村田卓則（愛知県 東三河建設事務所 企画調整監）
4. 事務局：石原幸治（公園緑地課長）夏目泰裕（公園緑地課専門員）
神谷和宏（公園緑地課主査）、千賀玲奈（公園緑地課）
5. 議事内容：
 - （1）豊橋市都市計画公園の未整備区域の見直し方針（案）における令和5年度からの変更点について
 - （2）今後のスケジュールについて
6. 議事概要
 - （委員）
 - ・期間を設けないことについては、分かるが何十年たった時に今後、見直しをしていく必要もあるのでは？
 - （事務局）
 - ・社会情勢や法改正により今後変化していくと思うので、そうなった際は適宜見直しを行う旨を記載していく。
 - （委員）
 - ・タイトルから長期がなくなったのは？
 - （事務局）
 - ・長期未整備公園では公園全体と勘違いされる可能性があるため、都市計画公園の未整備区域と対象を明確にするためです。
 - （委員）
 - ・まとまりの意味は？
 - （事務局）
 - ・緑地は連続しているため、まとまりで評価するものです。
 - （委員）
 - ・個別の方向性は公表していくんですか？
 - （事務局）
 - ・方向性の結果を出すと公園利用者等への影響が大きいためフローまでと考えています。

(委員)

- ・資料２・３について、個別の公園ごとの評価を豊橋市全体でマクロに見たとき、生物多様性や緑のネットワークの観点から配置論の視点でも見るべきでは？

(委員)

- ・公園に関しては、妥当な考え方だと思う。緑地に関しても、多くが戦災復興の際に指定されている。風致や自然公園では緑地は担保されないのでは？海岸沿いも開発されれば緑はなくなる。

都市計画運用指針でも、慎重にと言われているので今回のように簡単に緑地をはずすのは違うのでは？と思う。

(委員)

- ・緑地指定による法指定があれば、守られるといえるが、保安林は意味があるが風致は弱い。

(委員)

- ・資料３の資料で廃止・存続など、「廃止」と言い切っていいのか？「廃止候補」などのほうがいいのでは？

(委員)

- ・公園については、よく見ると公園のない地域がみられる。公園空白地のようなものが出せれば議論がしやすいのでは？

(事務局)

- ・緑地内の保安林については確認します。